

# 岩手県感染症週報

平成25年第46週(11月11日～11月17日)

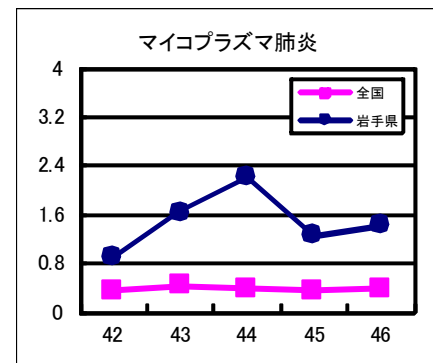
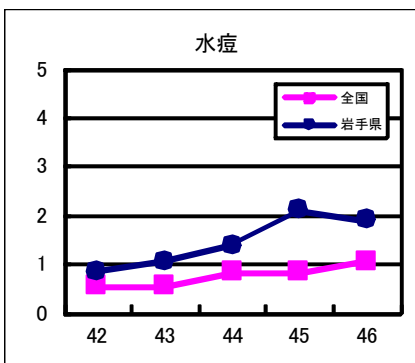
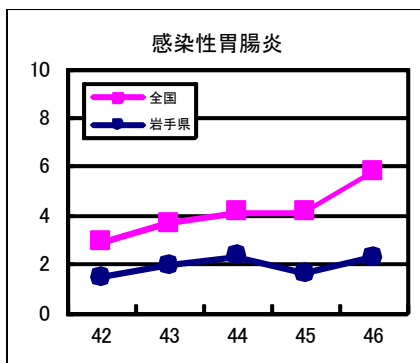
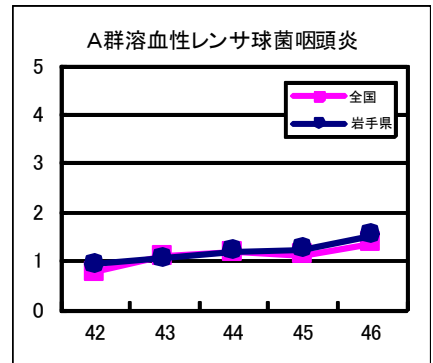
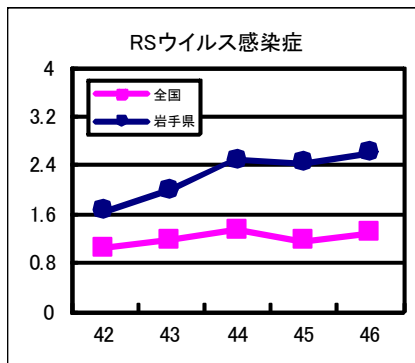
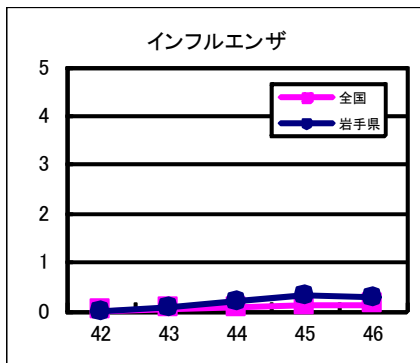
岩手県感染症情報センター

## 第46週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の患者の報告が、6例（潜在性結核3例）ありました。
- 3 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症（全数把握対象疾患）
  - ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症（定点把握対象疾患）
  - ・RSウイルス感染症は、中部地区で多い状況が続いているほか、盛岡市および久慈地区で多くなっています。乳幼児は、呼吸困難を伴う細気管支炎を併発し重症化しやすいので注意が必要です。
  - ・感染性胃腸炎は、過去5年間のこの時期に比較してかなり報告数の少ない状況が続いていますが、盛岡市ではノロウイルスによる集団感染事例が2例発生しました。ノロウイルスは感染力が強いので集団で生活を営む保育園等では2次感染に注意が必要です。予防には、流水と石けんによる手洗いと患者の汚物の適切な処理が重要です。
  - ・インフルエンザは、盛岡市および釜石地区から報告がありました。ワクチンは効果が現れるまで2週間程度かかるので、流行開始前に接種を受けることが勧められます。接種を希望される方は医療機関にお問い合わせください。
  - ・溶連菌咽頭炎は、中部地区で注意報値（定点あたり患者数4人）を超えています。

## 最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		42	43	44	45	46		
インフルエンザ	岩手県	0	0.08	0.19	0.31	0.27	→	
	全国	0.02	0.06	0.08	0.11	0.14		
RSウイルス感染症	岩手県	1.65	2	2.48	2.43	2.6	↗	☆
	全国	1.04	1.17	1.34	1.16	1.28		
咽頭結膜熱	岩手県	0.05	0	0.08	0.03	0.23	→	
	全国	0.25	0.28	0.33	0.33	0.42		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.93	1.05	1.2	1.25	1.53	→	☆
	全国	0.76	1.1	1.17	1.11	1.36		
感染性胃腸炎	岩手県	1.45	1.95	2.3	1.6	2.28	→	☆
	全国	2.9	3.68	4.12	4.11	5.74		
水痘	岩手県	0.85	1.05	1.38	2.1	1.9	→	☆
	全国	0.55	0.54	0.84	0.84	1.05		
手足口病	岩手県	1.4	0.65	0.83	0.9	0.38	↘	☆
	全国	1.29	1.06	1.09	0.79	0.68		
伝染性紅斑	岩手県	0.08	0.03	0	0.05	0.03	→	
	全国	0.03	0.04	0.04	0.05	0.06		
突発性発疹	岩手県	0.48	0.45	0.5	0.45	0.45	→	☆
	全国	0.49	0.54	0.53	0.49	0.55		
百日咳	岩手県	0.03	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.23	0.1	0.1	0.08	0.05	→	
	全国	0.19	0.15	0.14	0.1	0.08		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.38	0.4	0.25	0.23	0.83	↗	☆☆
	全国	0.22	0.22	0.21	0.21	0.25		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0.07	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.21	0.43	0.57	0.29	0.21	→	☆
	全国	0.47	0.53	0.51	0.43	0.56		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0.05	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.01	0.02	0.03	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0.05	0.05	0.05	0	→	
	全国	0.05	0.06	0.04	0.04	0.05		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.89	1.63	2.21	1.26	1.42	→	☆
	全国	0.35	0.43	0.39	0.35	0.39		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0.05	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.04	0.03	0.03	0.04		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0.01	0.02	0.01		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	0	2	1	1	1		
	全国	1	8	6	6			

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) が  
10週より対象疾患になりました。

(患者発生数)

	疾病名	(週) 岩手県					全国		
		42	43	44	45	46	累計	46	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	結核 ( ) 内は潜在性結核感染症患者数	8 (2)	10 (2)	4 (2)	6 (1)	6 (3)	203 (65)	381	23373
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	4	129
	腸管出血性大腸菌感染症	1	0	0	0	0	99	48	3696
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	62
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	45
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	105
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	115
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	16
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	8
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	5
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	0	42
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	11
	つつが虫病	0	0	0	1	0	7	26	206
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	222
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	4	151
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	8
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	2
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	44
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	17
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	4
レジオネラ症	2	1	0	0	0	13	14	995	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	1	0	26	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

※侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症が第14週より、鳥インフルエンザ (H7N9) が第19週より届出対象疾患となりました。

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 42	43	44	45	46	累計 46	累計	
五類感染症	アメーバ赤痢	1	0	0	0	0	3	12	925
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	1	246
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	3	2	312
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	18
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	1	188
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	1	182
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	1	14	1334
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	76
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	1	1	90
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	18
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	0	0	0	0	2	18	728
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	25
	梅毒	1	0	0	0	0	2	18	1075
	破傷風	0	0	0	0	0	1	0	118
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	48
	風しん	0	0	0	0	0	8	12	14269
	麻しん	0	0	0	0	0	0	1	213
指定	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0

今注目の感染症

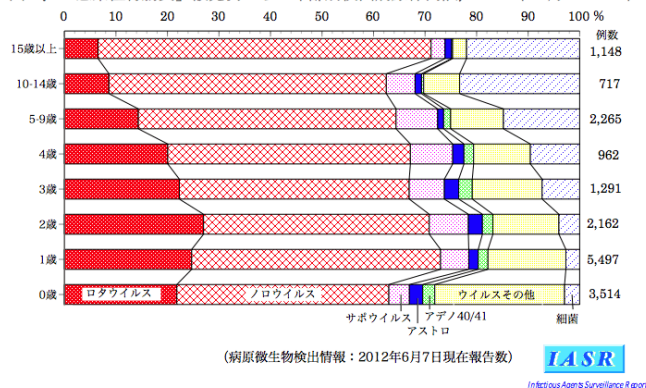
ロタウイルスによる感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は多種多様な原因病原体による症候群名です。主要な原因病原体のひとつにロタウイルスがあります。

(図)

ロタウイルスによる胃腸炎は主に乳幼児が罹患し、潜伏期は2日間で、通常は発熱 (1/3の小児が39℃以上の発熱を認める) と嘔吐から始まり24～48時間後に水様便を認めますが、1～2週間で自然に治癒します。他のウイルスによる胃腸炎より症状が重いことが多いと言われてお

図. 「感染性胃腸炎」散発例からの年齢別検出病原体内訳, 2005年9月～2012年5月



り、また重症な合併症として急性脳炎や多臓器不全が報告されています。特異的な治療法はなく対症療法が主体です。

ロタウイルスによる感染性胃腸炎は再感染します。初回感染時の症状が最も重く、2回目以降の感染は症状が軽くなります。ロタウイルスワクチンはこの性質を応用したもので、重症化を予防することが目的です。

ロタウイルスの感染経路は、経口感染ですので、予防には患者の汚物の適切な処理や手洗いの徹底等が有効です。また、ワクチンによる予防も重要性が高くなっています。

10月14日より、ロタウイルスによる感染性胃腸炎の感染症法における取り扱いが変わります。届出基準は [こちら](#)

参考 国立感染症研究「ロタウイルス感染性胃腸炎とは」  
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/3377-rota-intro.html>

今注目の感染症 (つづき)

細菌性髄膜炎

細菌性髄膜炎は、細菌感染による髄膜炎の総称です。発熱、頭痛、嘔吐を主な特徴とし、項部硬直、Kernig徴候、Brudzinski徴候などの髄膜刺激症状が見られることがありますが、新生児や乳児などではこれらの臨床症状が明らかではないことが多い。一般的に全体症状はきわめて不良で、迅速に有効な治療が施されないと致命的となります。

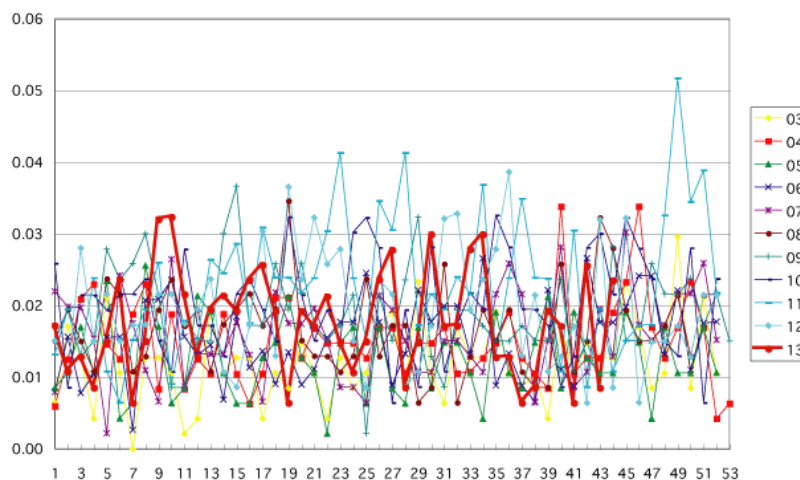
病原体は、インフルエンザ菌、肺炎球菌、B群レンサ球菌、大腸菌、リステリア菌、黄色ブドウ球菌、表皮ブドウ球菌、髄膜炎菌など多種類ありますが、年齢や基礎疾患によって原因菌に特徴があります。流行は特になく、季節性も見られません(グラフ1)。

感染経路は多くの場合飛沫感染であり、原因菌が上気道あるいは呼吸器感染病巣を経由して侵入し、血行性に髄膜に到達します。新生児のB群レンサ球菌感染症の場合には、産道感染も考えられています。その他に、リステリア菌が腸管から侵入したり、粘膜や皮膚に付着している黄色ブドウ球菌や表皮ブドウ球菌が、カテーテルを介して血行性に髄膜に到達することもあります。

予防としては、感染者からの伝播を避けることです。また、限られていますが原因菌に対するワクチン接種が有効です。今年4月から、インフルエンザ菌b型菌(Hib)に対するHibワクチンや、小児用肺炎球菌ワクチンが、定期予防接種となりました。

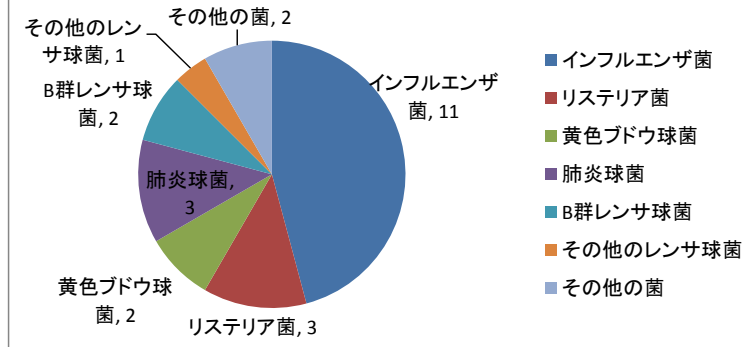
岩手県内で2006年から2013年の46週までに報告された件数は34件で、そのうち24件について病原体が分離同定されています。内訳はグラフ2のとおりです。

グラフ1 過去10年間の細菌性髄膜炎(定点あたり患者数) 全国 (2003～2013年)



国立感染症研究所 感染症疫学センター

グラフ2 分離された病原体 岩手県 n=24 (2006年～2013年46週)



今注目の感染症 (つづき)

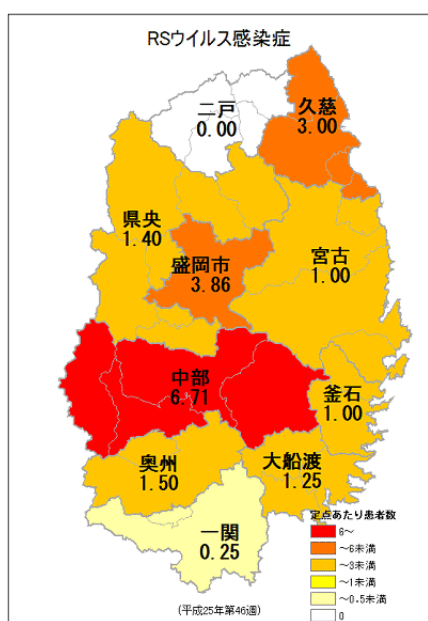
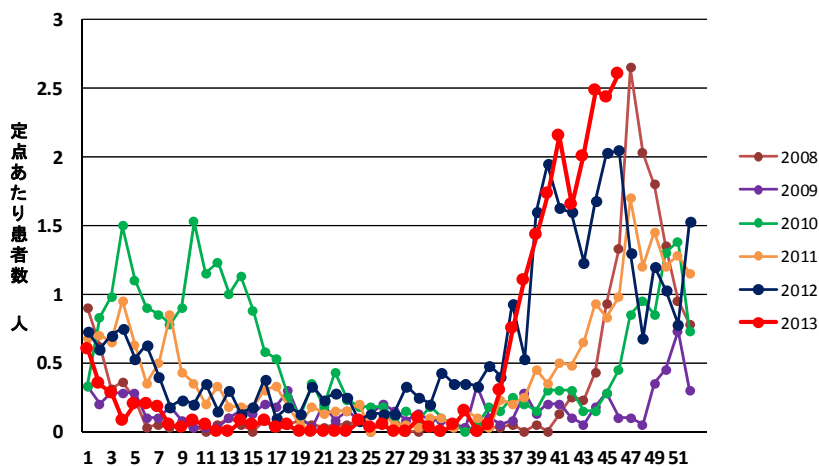
RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、RSウイルス(respiratory syncytial virus)の感染によって発症する呼吸器感染症です。終生免疫は獲得されず、年齢を問わず生涯にわたり顕性感染を繰り返し、生後1歳までに半数以上の児が、2歳までにほぼ100%の児が初感染を受けるとされています。特に、生後数週間～数ヶ月間の時期においては、母体からの移行抗体があるにもかかわらず、肺炎や細気管支炎など重症化する場合があります。無呼吸、ADH分泌異常症候群、急性脳炎なども注意すべき合併症です。

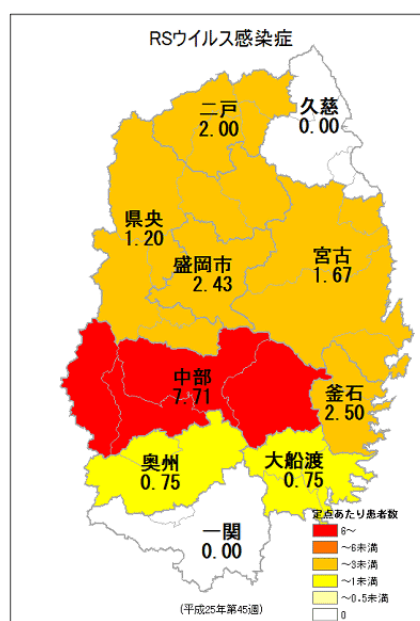
例年、冬期に発生のピークが見られていますが、昨年は7月頃から増加傾向がみられ、9月下旬と11月初旬に2つのピークがありました。今年は9月中旬より急増しています。今後の発生の動向に注意が必要です。

RSウイルス感染症に関するQ&A [http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html)

RSウイルス感染症週別患者報告数岩手県(2009～2013)



第46週



第45週

## 病原体検出情報

この週には病原体検出情報はありません。

## 集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について

盛岡市内の保育園（園児150名、職員36名）

- ・11月13日（水）から11月19日（火）にかけ24名（園児22名、職員2名）に症状（嘔吐、下痢、発熱等）
- ・有症者6名中5名（園児5名）からノロウイルスを確認

盛岡市内の認知症対応型共同生活介護事業所（入居者8名、職員9名）

- ・11月10日（日）から11月20日（水）にかけ7名（入居者3名、職員4名）に症状（嘔吐、下痢、発熱等）
- ・有症者4名中4名（入居者1名、職員3名）からノロウイルスを確認

○インフルエンザによる学校等の休業措置について（11月20日発表分）

- ・岩手県および盛岡市の発表はありません。

詳細は、岩手県医療政策室のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=4104&ik=1>

## 医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

## Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

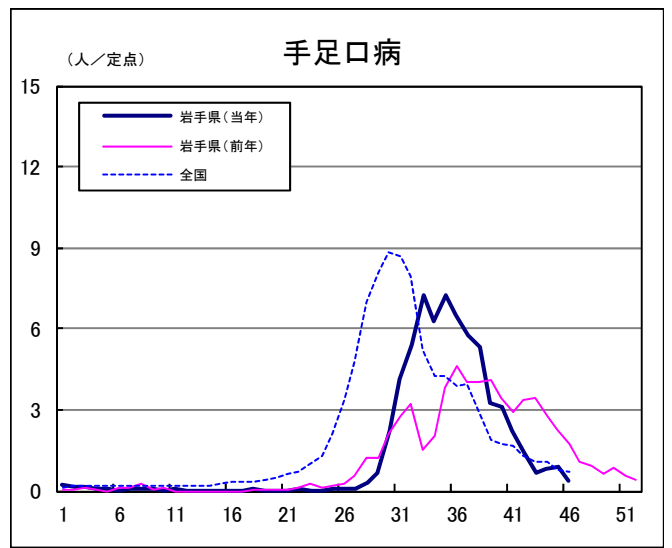
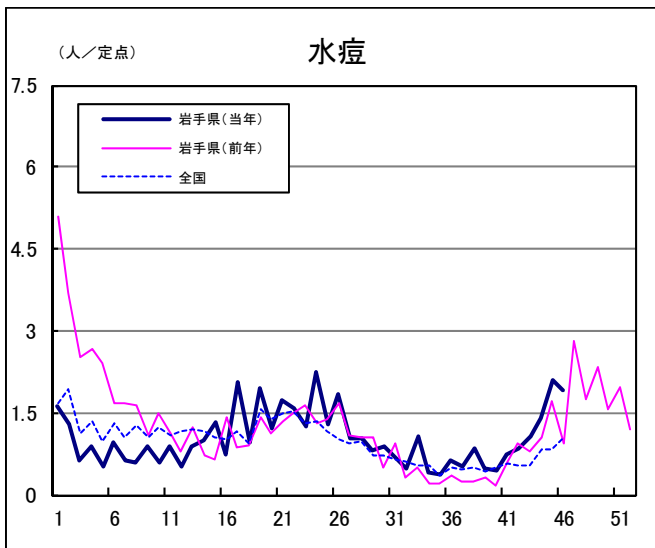
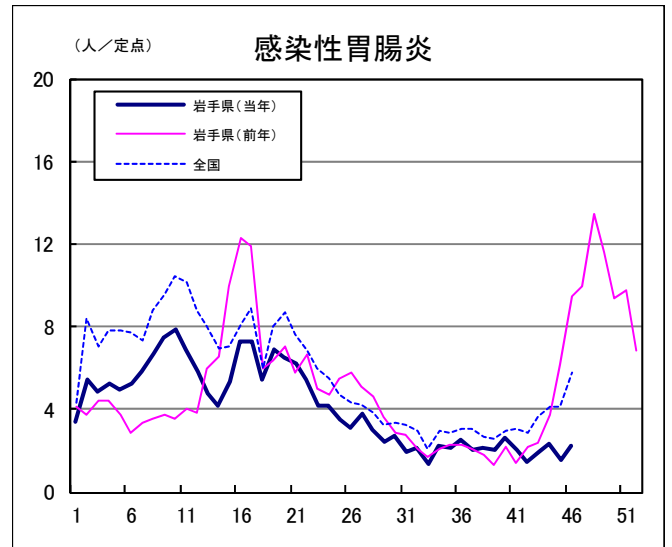
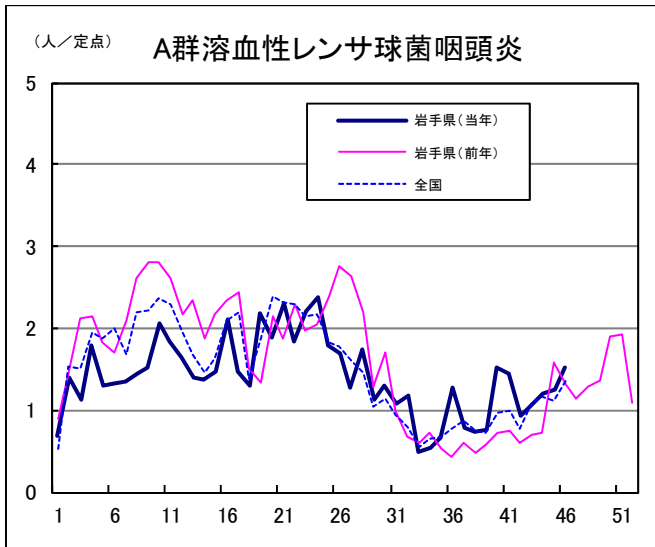
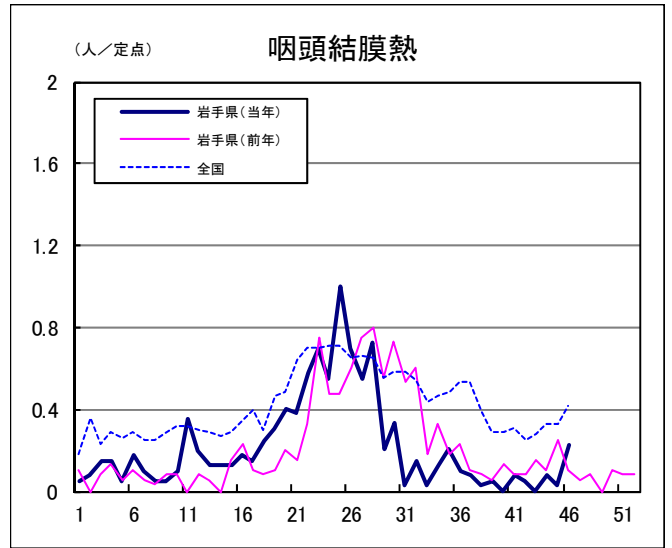
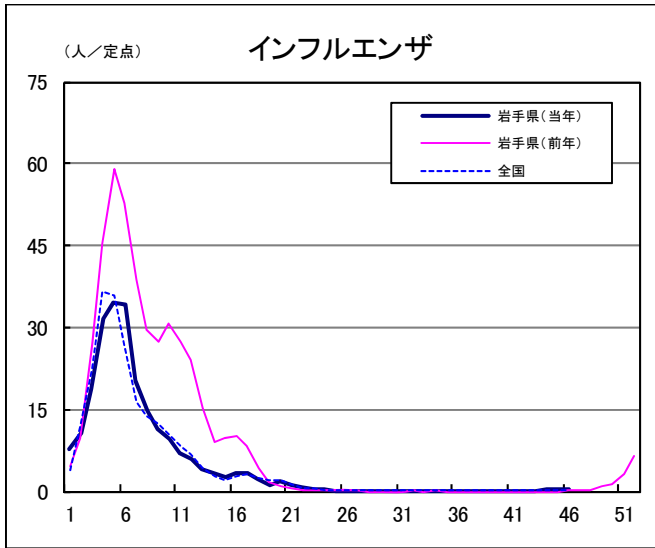
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）

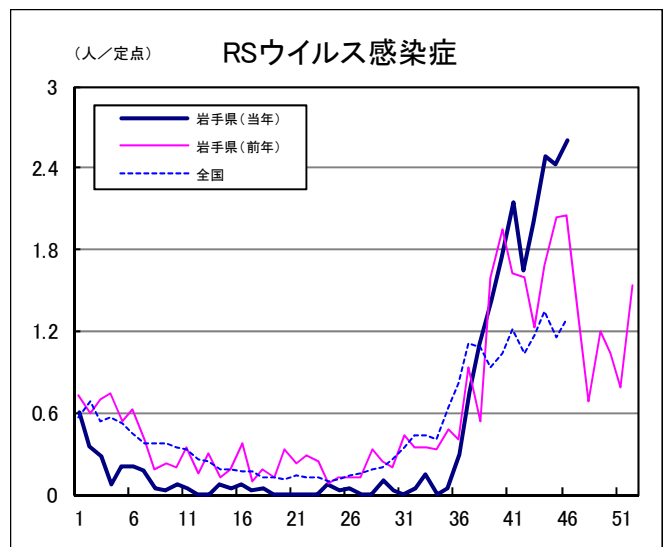
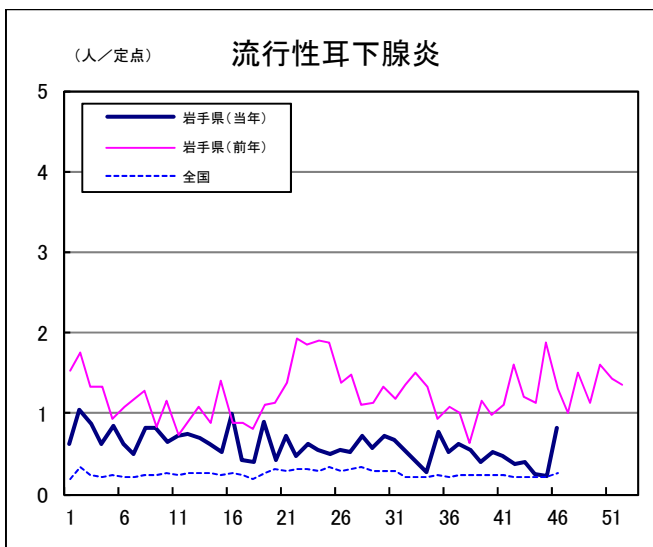
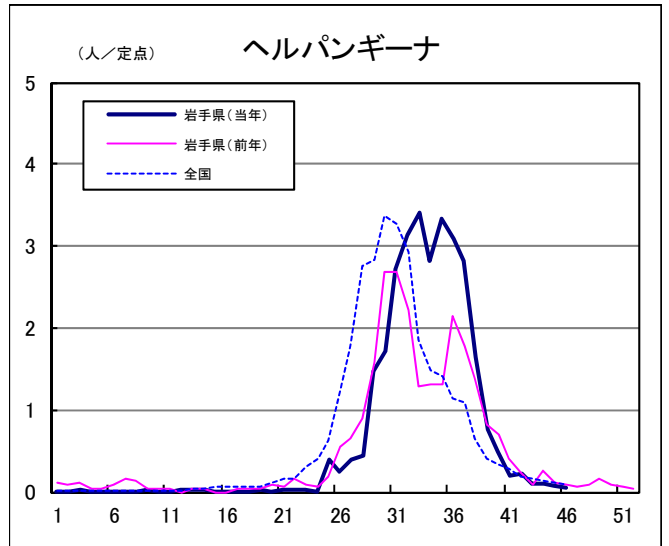
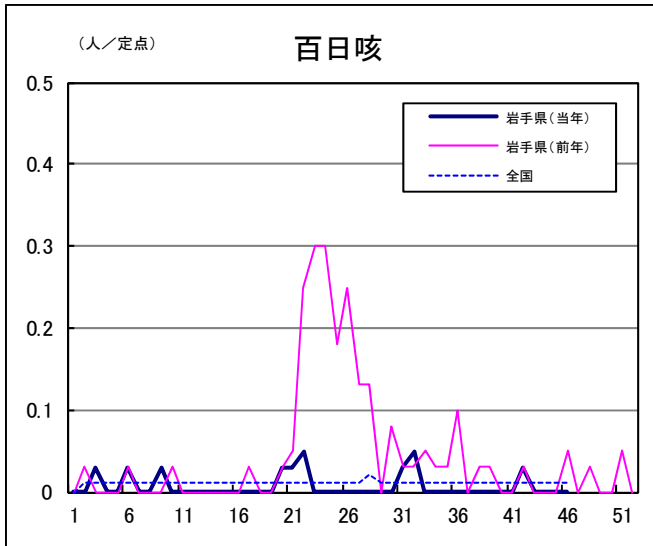
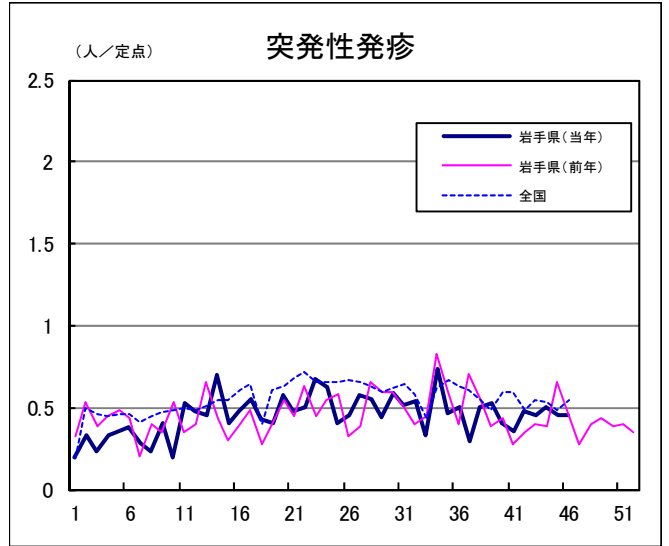
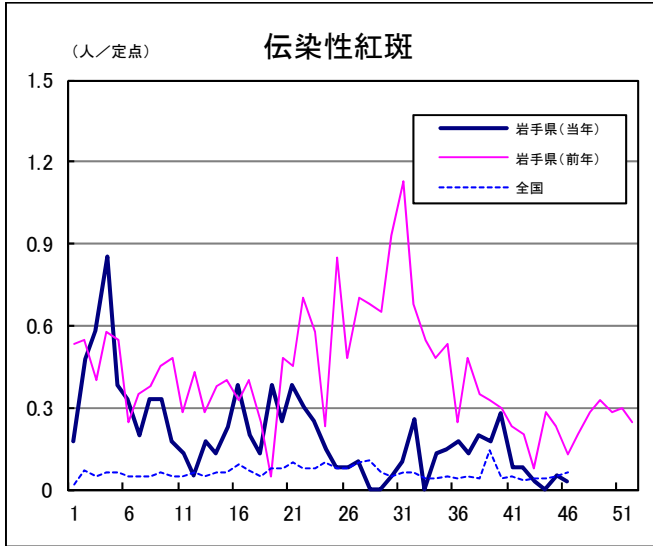
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

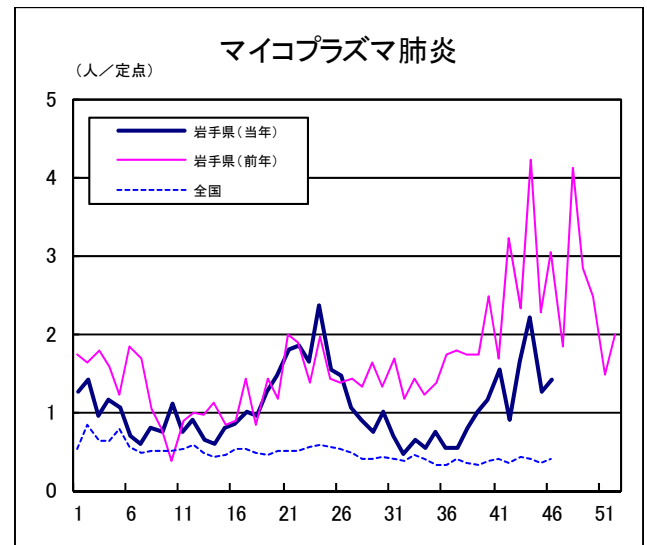
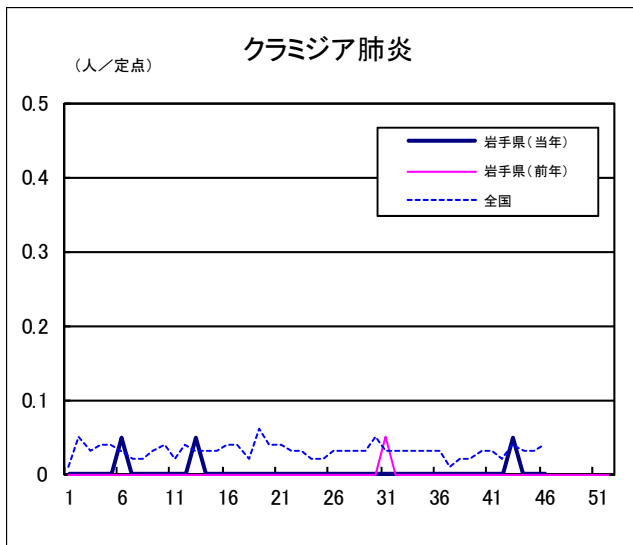
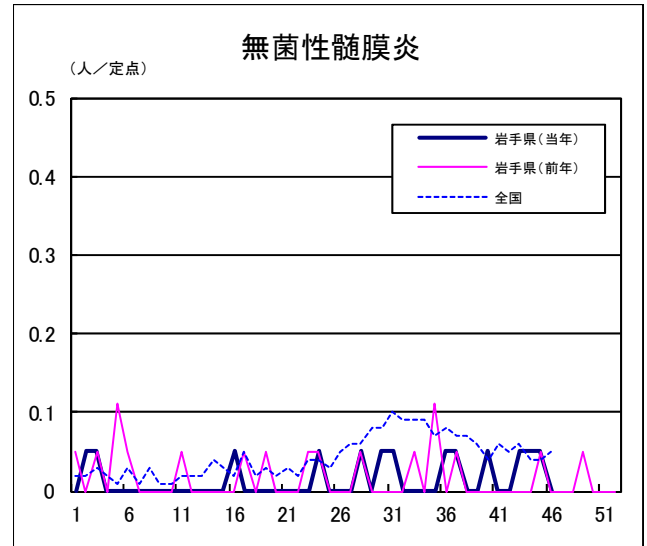
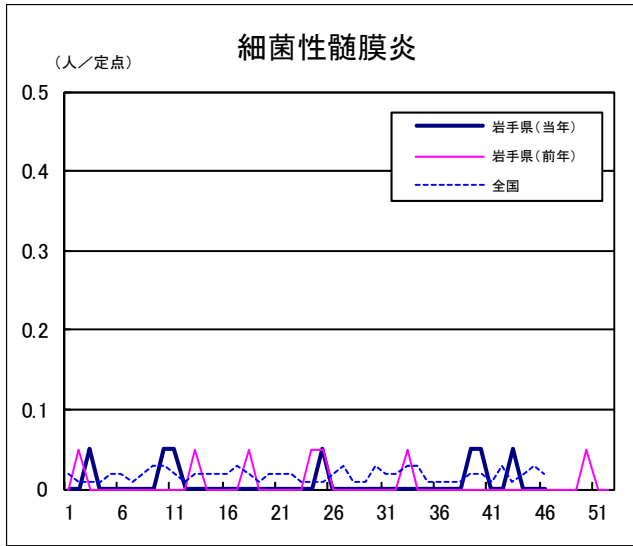
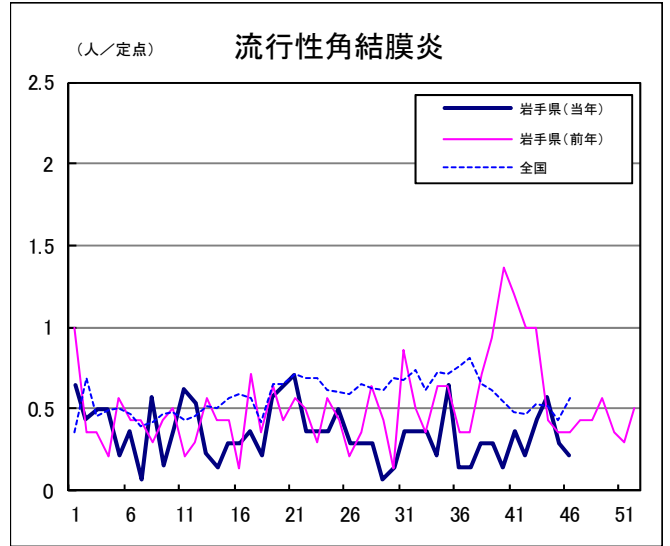
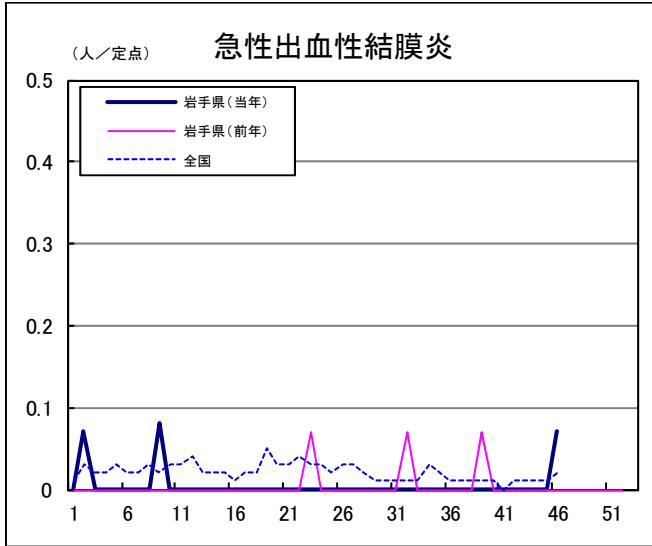
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)









定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成25年第46週 平成25年11月22日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター  
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター  
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療政策室>